

申込不要
・
入場無料

市民公開 第2回 ロハスの工学シンポジウム

～ふくしまの子どもたちの未来のために～

開催
日時

平成25年 **3月2日(土)**
13:00～17:15

会場

日本大学工学部70号館



小児科医
NPO法人郡山ベップ子育てネットワーク理事長
菊池 信太郎氏



日本大学工学部
機械工学科 教授
加藤 康司

LOHAS

ロハスとは“Lifestyles Of Health And Sustainability”の頭文字LOHASのことで「健康で持続可能な生活スタイル」の意味です。

東日本大震災における原発事故以来、郡山では低レベル放射線下にある子どもたちの心と体の健康増進と、その向上策の一つとして屋内運動施設が期待されています。これらの課題に対し、日本大学工学部の掲げる「ロハスの工学」が子どもたちの未来のために何を成すべきか？市民の皆様と共に考えてみたいと思います。



司会：日本大学工学部 機械工学科
准教授 伊藤 耕祐

開会挨拶

13:00-13:10 日本大学工学部長 出村 克宣

来賓挨拶

13:10-13:15 郡山市長 原 正夫氏

基 調 講 演

13:15-14:00 「元気な子ども、明るい未来。郡山の元気、明日の福島。
～震災後の子どもたちの現状と、子どもたちを育む取り組み～」
小児科医 菊池 信太郎氏 (NPO法人郡山ベップ子育てネットワーク理事長)

14:00-14:45 「ロハスの産業と文化～脱原発県の進む道～」
日本大学工学部 機械工学科 教授 加藤 康司

14:45-15:00 休 憩

パネルディスカッション コーディネーター：日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

趣旨説明(ロハスの工学のロードマップ)

15:00-15:10

話題提供

15:10-15:30 「ロハスの工学によるエネルギー問題の解決に向けて」
日本大学工学部 生命応用化学科 准教授 児玉 大輔

15:30-15:50 「未来を担う子どもたちの学びについて考える」
日本大学工学部 電気電子工学科 准教授 村山 嘉延

15:50-16:10 「ロハスの地域・まちづくりの契機づくり」
日本大学工学部 建築学科 准教授 浦部 智義

ディスカッション

16:10-17:10 パネリスト：菊池 信太郎氏、箭内 研一氏(郡山市)、
遠藤 佐起子氏(郡山市スクールカウンセラー)、
児玉 大輔、村山 嘉延、浦部 智義

閉会挨拶

17:10-17:15 日本大学工学部 工学研究所長 竹中 豊文

ロハスの工学シンポジウム

～ふくしまの子どもたちの未来のために～

開催日時

平成25年**3月2日(土)**
13:00～17:15

会場

日本大学工学部70号館

「元気な子ども、明るい未来。郡山の元気、明日の福島。」 ～震災後の子どもたちの現状と、子どもたちを育む取り組み～

小児科医 NPO法人郡山ベップ子育てネットワーク理事長 菊池 信太郎氏

東日本大震災から早2年が経過しようとしている。多様かつ多大なる影響を受けた郡山の子どもたちの現状は、一体どのようなものであろうか。郡山市では震災直後に、行政、教育委員会、医師会で『郡山市震災後子どもの心のケアプロジェクト』を立ち上げた。その取り組みは多岐にわたり、『PEP Kids Koriyama』の設立は成果の一つである。郡山の子どもたちに必要な育成環境をコンセプトにしているが、日本全国の子どもたちにとっても必要な環境であると考え、この郡山の地から、「日本一元気な子どもたち」が誕生することが福島を再生させ、将来の明るい日本を創る原動力となる。地域が一丸となった子どもを育む育成環境の樹立が、今まさに求められている。

「ロハスの産業と文化～脱原発県の進む道～」

日本大学工学部 機械工学科 教授 加藤 康司

今の子どもたちは地球規模で起こる資源枯渇と大規模な環境汚染の時代を生きることになる。資源輸入加工輸出の経済は成り立たない。大量生産、大量消費、使い捨ての生き方は不可能になる。再生可能エネルギーと再生可能材料及びリサイクル材料のみで成り立つ産業と社会を形成し、幸せな社会を構築することが求められる。そのためには新しい生き方と文化の形成を始めなければならない。「健康で持続可能な生活スタイル(ロハス)」の実現を目標とし、そのための産業と文化を有する社会の構築を目指すことがその答えに成り得る。脱原発を決めた福島の親達が不退転の覚悟でその挑戦を開始するならば、福島の子どもたちは幸せな未来を準備されることになる。

日本大学工学部

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原 1

JR 東北
新幹線

東京駅 → 郡山駅(やまびこ号 80分)
郡山駅 → 日本大学下車(日大行バス 20分)

JR
東北本線

郡山駅 → 日本大学下車(日大行バス 20分)
安積永盛駅下車 (徒歩 15分)

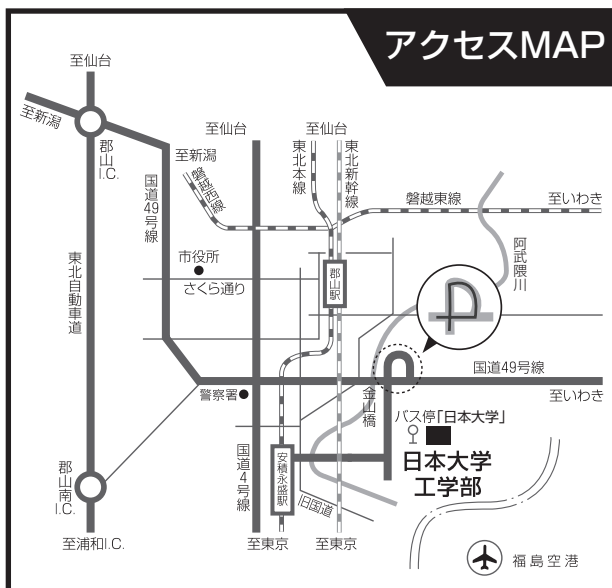
福島空港

車で約30分

大学内MAP



アクセスMAP



※駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。 ※当日は、学生食堂をご利用いただけます。

問合せ先

日本大学工学部
研究事務課

TEL 024(956)8648

FAX 024(956)8878

E-mail lohas@ao.ce.nihon-u.ac.jp

URL http://www.ce.nihon-u.ac.jp/